



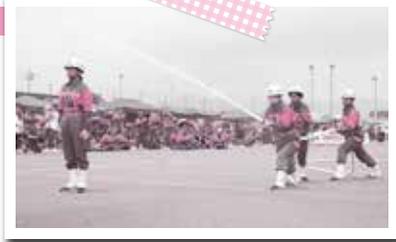
市長メッセージ  
もりなか たかふみ  
森中 高史市長の  
元気ヤマモリ

安全・安心なまち守山を目指して  
～自助・共助・公助の連携と消防団の活躍～

本年は、阪神・淡路大震災から30年の節目の年です。また、昨年の能登半島地震は記憶に新しく、つい先日は、九州地方を線状降水帯が襲いました。本市も、いつこうした大地震、頻発化・大型化する台風や局地的豪雨などに見舞われるか分かりません。このような大規模災害に的確に対応するためにも、「自助・共助・公助の連携」による地域防災力の強化が急務です。

そのような中、まずは、地域防災力の中核的な役割を果たす守山市消防団の活躍をご紹介します。

本頁下部に掲載のとおり、滋賀県消防操法訓練大会で速野分団が見事に準優勝!そしてMSL分団は10月に全国女性消防操法大会に出場します。守山市消防団は、都市化が進む状況下にあっても非常に士気や練度が高く、令和5年度創設の総務大臣表彰「消防団地域貢献表彰」でも全国第一号を真



守山市消防団 守山サンレディース分団 (MSL分団)

先に受賞しています。日々、自らの仕事や家庭がある中、地域の安全・安心のために尽力していただいている消防団に対する市民の皆さまのご理解と応援をよろしくお願いいたします。

次に、本市における対応です。今年度、能登半島地震などにより顕在化した課題などを踏まえ、地域防災計画の改訂を行うとともに、各種マニュアルや防災備蓄の実効性をより高めるための見直しや受援計画の策定を進めています。また、高齢者や障害者など、支援が必要な人の個別避難計画の策定を、医療・福祉機関や市社会福祉協議会、自治会などと進めるとともに、災害時の迅速かつ円滑な初動体制を目的に、各種民間団体などとの災害時応援協定の締結を積極的に進め、連携を強化しています。

このように、「公助・共助」の充実強化を進めていきますが、災害に強いまちづくりを進めるためには「自助」も非常に大切です。「防災の日」の今日、避難経路の確認や非常持ち出し品の準備など、いざというときの備えを改めて見直してみるようお願いします。

## 滋賀県消防操法訓練大会で速野分団が準優勝

☎危機管理課 ☎(582)1119 FAX(583)5066

7月27日、滋賀県消防操法訓練大会が開催され、市消防団を代表して小型ポンプの部に出場した速野分団が見事、準優勝に輝きました。5月下旬からの早朝の厳しい練習が実を結び、市消防団としては12大会連続入賞の快挙を達成しました。

また、10月28日(火)に開催される全国女性消防操法大会へ、県を代表して出場する守山サンレディース分団 (MSL分団) が、軽可搬ポンプ操法の披露を行い、会場を大いに盛り上げました。



ホームページ

